

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第62号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センター5F
 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
 Email: zan25564@nifty.com <http://www.kanagawa-iguren.com>

秋の交流大会シーズン始まる

芝 忠

秋から冬にかけて、全国各地で「異業種交流大会」が開催されています。金沢・札幌・京都・大分・大阪がすでに終了し、これから秋田・浜松・四日市で開催されます。さらに国際異業種交流シンポジウムが東京で開催されましたし、展示会は全国規模や東京都その他でも開催されています。今年の特徴は数年間中止されていた地域ブロック規模の大会が開催されていることです。また全国大会が虎の門開催が中止となり、京都で行われました。

私はこのうち札幌・京都・大分・大阪に参加してきました。それぞれの大会は①地域性の打ち出し、②全国規模を意識して他府県からの参加者に配慮、③報告者の多様化、④報告プラス質疑を重視、といった共通した運営配慮があるように感じました。しかし「交流」を重視するという点ではまだまだ検討する余地があるようです。いわゆる質疑応答や形式的な懇親会の類では初めて参加した人達には交流の機会が殆ど見られないというのが感じられます。名刺交換も後に、どれだけ効果が発揮されるのかが疑問です。私達も反面教師の場として真剣に考えねばなりません。京都で同時に開催された「全国異業種交流協議会会長・事務局長会議」も折角の機会ながら実質の問題討議は殆どなしという状況で、異業種交流活動が抱えている課題の検討はされないままでした。

3年連続、異業種交流支援法(注参照)と言われながらも、**事業開発だけが異業種交流の目的のような傾向に対して、改めて「交流成果」を強調する必要があります。**参加企業経営者の人材育成や情報交流にどれだけ効果的なのかを検証すべきでしょう。大分大会の帰途、JR九州の車掌さんと一緒になりました。まだ若い方で異業種交流会参加は初めてで、大変興味があるけれど、参加の仕方が分からない、取っかかりが分からない、というので、前大分協議会会長の鈴木さんを尋ねるよう勧めておきましたがどうなったのでしょうか？

(注) **2005「新事業活動促進法」**〔95創造法(88融合化法を吸収)・98新事業創出促進法(中小企業技術革新制度)・99経営革新支援法の3法を統合、新連携を推進]

2006「ものづくり法(川上から川下)」 **2007「地域資源活用法(一次産業との連携)」**

神奈川における中小企業振興策を考える自治体学校分科会

地域産業の活性化という、今後の自治体政策の根幹に係わるテーマとしての討論を行います。

期 日：11月23日(金) 13:30~17:00 (終了後交流懇親会~近くの店~を予定、実費)

会 場：平沼レストハウス2F会議室 045-641-5749 (横浜市中区不老町2-7 横浜市文化体育館脇)

内 容：司会進行 NPO法人 中小企業地域振興センター 副理事長大島茂男氏

第1部13:30~: 開会挨拶と自治体学校産業経済分科会の目的 かながわ総合科学研究所理事 小畑 一氏

13:40~: 問題提起①**中小企業を取り巻く情勢と中小企業振興条例問題** 神奈川大学教授 大林弘道氏

14:20~: 問題提起②**中小企業振興条例づくり運動について** 神奈川異グ連専務理事 芝 忠氏

第2部15:00~17:00 討論会、まとめ

参加費：500円(会場費・資料代等) 申込締切：11月21日(水) (資料準備の為)

連絡先：かながわ総合科学研究所 小畑 一 ☎045-662-9839 Fax045-664-7920
 〒231-0028 横浜市中区翁町2-7 第2不二ビル503号

主 催：かながわ総合科学研究所 後 援：神奈川県異業種グループ連絡会議

産学官交流サロンのコーナー

おなじみ尾上町サロン

日 時：毎月第一・三金曜日(12月07日、21日) 会場：神奈川中小企業センター5F産業交流プラザ

連絡問合せ：神奈川異グ連事務局 芝、八幡、島津龍男、児玉、鈴木 045-633-5142

第21回川崎経済人サロン報告

松井BC

今回は、経済産業省の「元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれたマイクロ・ダイヤモンド社の中島博邦社長を招いて、単結晶ダイヤモンド(径0.1ミリ)を化学ロウ付けし、刃先とする「世界最極細ドリル」の話聞き、意見を交わした。同社は、第1回かわさき・アイデアシーズ市場の最優秀賞、かながわビジネスオーディションの優秀賞などを受賞している。中島社長は、同社の軌跡を振り返りながら「超硬工具の中でも極小工具の分野はニッチマーケットだが、世界全体の市場は400億円とみられる」と述べ、機械や光学関係はもとより、医療系レンズやバイオまで取引が広がってきていることを説明された。(次回第22回はH20年2月の予定)

第23回サロンよこはま	第23回三浦半島経済人サロン
日時 ：H19年11月22日(木) 18:00～20:30	日時 ：H19年11月28日(水) 18:00～20:30
会場 ：ヘリオス関内ビル 2階会議室 横浜市中区元浜町3-21-2	会場 ：神奈川新聞社横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9
話題 ：「 こだわりの酒と経営戦略 」 (株)横浜君島屋社長 君嶋 哲至氏 (良質の蔵元を回り地酒を掘り起こし続け、今日の地酒ブームを作り上げた功労者のお一人です。)	話題 ：「 どぶ板通りのまちづくりの実践 」 本町商店会会長 越川 昌光氏 中小企業診断士 大場 保男氏 (上記テーマについて意見を交換し、皆様からの情報発信も受け付けます。)
参加費：2000円(特別な地酒の試飲があります)	参加費：1000円
申込：芝、杉本、織方 t045-633-5142 f 045-633-5194	申込：八幡 t045-633-5142 f 045-633-5194

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

まんてんプロジェクト	千田BC
<p>●10月19日まんてん全体会合を開催し、UAVに関するセミナーを開催した。 「小型電動飛行ロボットの研究開発(背景・現状・将来)」で東京大学 工学系研究科航空宇宙専攻久保大輔氏が、「空中物流ロボットの開発とその利用分野への取り組み」と題して(独)産業技術研究所知能システム研究部門フィールドシステム研究グループ 岩田拓也氏の講演があった。また「まんてんプロジェクトとの連携と今後の業務の展開」と題してJASPA 千田取締役から提案があった。</p> <p>●10月26、27日両日、東京ビッグサイトにて産業交流展2007が開催され、東京都が主催する航空機関連特設ゾーンにまんてんプロジェクトから12社、1組合が出展した。水上飛行機開発事業協同組合が、ULP実機に新開発のフロートを付けて大型の展示を行ったが、この組合としての初展示は大きな反響があった。27日は航空機関連産業への中小企業の参入機会についてJASPA 千田取締役のセミナーが行なわれた。会期中の総入場者は、昨年を7000人ほど上回る4万人であった。</p> <p>●10月27日に開催された神奈川県産業技術センターのフォーラムにてまんてんの活動、JASPAの活動についてそれぞれ瀧澤会長、山口社長から発表があった</p> <p>●早稲田大学理工学術総合研究所が中心となり、JAXA、東京都、まんてんが幹事団体として参加し、航空機関連部品の国産化の研究会を発足させることが決まり、その立ち上げイベントとして12月5日に早稲田大学大久保キャンパスにてセミナーを開催することとなった。立ち遅れた我が国の航空産業のボトムラインを強化する為、中小企業などの優れた技術を使って、世界トップの航空機部品を開発するための様々な課題を研究することが目的で、全国の関係者に今後呼びかけを行なう。</p>	
シフト21	有村知里BC
<p>12月定例会(12月11日)は、横浜市子ども青少年局企画調整課のご協力により、「最近のワークライフバランス(WLB)と企業の取り組み事例～経営戦略としてのワークライフバランスについて」と題して、横浜市両立支援アドバイザーの上岡由美子氏(社会保険労務士)にお話をいただきます。(場所はかながわ県民センター)</p> <p>少子高齢化が急速に進む中で、企業には従業員の仕事と子育ての両立を支援する取り組みが求められています。このような状況下で“ワークライフバランス”とは、仕事と家庭の両立が実現できる働き方を目指すキャッチフレーズとして注目を集めています。このWLBを企業に導入し成功させるポイントをお話いただきます。</p> <p>講演 1. ワークライフバランス(WLB)成功している会社とそうでない会社、どこが違う? 2. 業績向上につなげるには? 3. WLBの本質は「働きかたの見直し」と業務改善 4. 両立支援策の設定方法(就労体制の改善) 5. 人材活用策としてのWLB</p> <p>皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村まで。 arimura-c@nifty.com</p>	
海洋深層水を楽しむ会	八幡敬和
<p>10月28日、秋の恒例となっている第25回三崎港町まつりに、当会会員企業による「三浦海洋深層水コーナー」を設け、関連食品(塩辛、麺類、漬物、豆腐、プリンなど)の試食販売を行った。当日は全国朝市サミットも併催され、会場は終日熱気に包まれた。</p>	
スターリングエンジン研究会	八幡敬和
<p>“スターリングエンジンを活用したハイマックス燃料コージェネレーションシステム事業を可能にする連携体の構築”連絡会議が、11月1日中小企業センター会議室で開催された。今回採用するエンジンの製作企業のINFINIA社(ワシントン)で、10月下旬4日間の研修を終えた(株)プロマテリアル齋藤社長から報告があり、次いで各パートの担当日程が発表され、予定通り進捗されていることが確認できた。エンジンの現物は2週間後に米国から到着し、明星大学でセッティングと計測を行って実機テストに入り、年度末までに連携体構築を終える予定である。なお「スターリングエンジン普及協会」の設立準備も着々と進められている。</p>	

第79回日韓ビジネス協議会報告

高橋導徳BC

- NPO国際交流支援協議会・・・最近の活動状況代表 加藤めぐみ氏
留学生支援と国際交流活動の促進・支援を目的として次世代の人を育てる事業を展開している。
- 韓国中小企業の現状と展望・・・(財)韓国中小企業振興公団日本事務所所長 梁 海震氏
2006年経済動向(5%の成長、設備投資も回復)、韓日貿易(784億ドル、対日貿易の赤字は深刻)、2007年経済展望(半導体、自動車、船舶が好調持続、設備投資・外国人投資も持続、成長展望は4.5%程度。
- 最近の日本サムスの状況について・・・日本サムスン(株)顧問 石田 賢氏
サムスの成功要因、日本企業の失敗要因、収益源の3本柱(新事業の発掘、日本企業との相互依存、日韓の競争から共創時代)、相互不信の根源・歴史観、日韓の経済連携は幻想か?等。
- メイン講師: その後の「まんてんプロジェクト」について・・・会長 瀧澤 清氏
優位性、高信頼性と品質への対応、型式認証への対応、今後の展望・・・JASPA(株)ブランドの確立、会員企業の技術水準のアップと体質改善、ボランティア体質からの脱皮などが課題である。

第80回日韓ビジネス協議会(会費:1,000円)

- 日時:11月21日(水)15:00~17:00、17:15から懇親会 場所:神奈川中小企業センタービル5階 会議室
- 最近のアセアン(フィリピン、マレーシア)と日本について・・・交流アドバイザー 児玉英二氏
 - 11月1日 ブリーズベイホテルで開催された神奈川県一韓国・京畿道との「異業種国際交流会」の報告
 - 太陽電池の普及状況(NED“なぜ、日本が光発電で世界一になれたのか”)・交流アドバイザー 児玉英二氏
 - 基調講演:最新のセキュリティーシステムの開発・・・(有)ホームポジション 代表取締役 竹 健治氏
- 連絡申込先:TEL&FAX045-311-0094 高橋迄 MAIL: mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

関連イベントなどのお知らせ

～神奈川のにぎわいを創る。地域資源活用事業～地域資源活用フォーラムのご案内

- 日時:平成19年11月20日(火)午後1時30分~午後4時20分
場所:横浜にぎわい座「芸能ホール」横浜市中区野毛町3丁目110番1号
講演 「中小企業地域資源活用促進プログラムの概要」神奈川県商工労働部工業振興課ご担当者
「横浜の大衆文化が時代を変える」作家 山崎 洋子氏
パネルディスカッション「劇場空間 in 野毛」コーディネーター(株)フューチャラボラトリー代表取締役 橋本 昌隆氏
<パネラー陣>横浜にぎわい座館長 玉置 宏氏、横浜・八景島シーパラダイス取締役社長 布留川信行氏
中小企業基盤整備機構関東支部GM 高島利尚氏、情報芸術研究所(株)代表取締役 河内暢也氏
野毛地区振興事業協同組合理事長 小林光政氏
参加費:無料 定員:400名 <http://www.chuokai-kanagawa.or.jp/topics/topic.asp?Id=3163&wn=1>
主催、問合せ:神奈川県中小企業団体中央会(045-633-5132)、野毛地区振興事業協同組合

中小企業技術革新(SBIR)制度説明会

- 日時:第二回H19年11月29日(木)13:30~16:30
場所:小田原商工会議所(場所変更です、ご注意ください)
(第3回はH20年1月31日神奈川中小企業センターの予定です)
内容:公的資金活用企業の体験談、SBIR制度概要等
参加費:無料 問合せ:(社)日本技術士会神奈川県会
TEL045-210-0337 FAX045-210-0338

技術情報セミナー(品質管理経営セミナー) 無料

- 日時:H19年11月26日(月)13:00~16:00
場所:神奈川県産業技術センター2F講義室
演題:顧客満足度向上の取組とポイント
(株)ホンダカーズ中央神奈川会長 相沢賢二氏
申込先:神奈川県産業技術交流協会品質管理研究部会
里吉 TEL.046-236-1500(内線2206)

日本在住のベトナム人から見たベトナムと日本の「文化の壁」

- 講師:東京大学教授・日本ベトナム友好協会会長 古田元夫氏, 日本在住ベトナム人(ビジネスマンなど)
日時:2007年11月24日(土)15:30~17:00 参加費:会員(双方の):2,100円 一般:2,520円
会場:NHK文化センター青山教室(港区南青山1-1-1新青山ビル西館4階)
<http://www.nhk-cul.co.jp/school/aoyama/> 問合せ:日本ベトナム友好協会の本吉

論壇・投稿のコーナー

社長さんへの手紙

加藤文男BC

異業種交流会に参加してみませんか～お付き合いの苦手な社長さんへ～

世間で不況といわれている中でも着実に売り上げを伸ばし、利益を上げている企業がありました。その企業の社長さんは、「儲かっている」とは決して言いません。しかし見えないところで努力をして成果をあげていまし

た。その社長さんにとっては、ごく当たり前のことですから誰にも吹聴しませんし、自慢もしません。企業を訪問してお話を伺うと儲かっている企業の社長さんには隠れた努力があることがわかります。

その一つが他の業界の方々との交流です。社長さんには、色々な方面から会合へのお誘いがあります。経営者が「私は酒が飲めないから」とか「話がへただから」「人付き合いがうまくないから」といって全く参加しない方もいます。経営トップが社内にももっていて情報交換を少なくしては業界の状況も把握できないし、市場動向も知る機会は少なくなります。むしろお付き合いの苦手な経営者こそ、前向きに交流会に参加し、視野を広げたいものです。

特に、業界や業種の異なる経営者との交流が面白いのです。業種が異なるとお互いに話す内容に警戒する必要もありません。忌憚のない意見交換から思わぬヒントが得られるものです。また、自社の得意な分野や能力、小回りが利くという強みなど、それとなく話をするのです。このような行動はすぐに自社の経営に効果を発揮できるものではなく、時間も掛かりますが思わぬ機会に情報が入ります。

講演会や発表会などを聴き、その後の交流会で名刺を交換することは、従来にないネットワークをつくります。それを機会に情報交換だけでなく、相談をしたり、相手になることも出てきます。社長さんは、この種の会合はあまり好きでないとお聞きしました。しかし、最初はご自分から話をするのではなく、社長さん同志の会話を横で利くだけでも役に立つことはたくさんあります。確かに交流会によっては、無駄になることもあるでしょう。でも社長さんの仕事と思って一度参加してみてください。

必要なときだけ注文を出して、支払いもきっちりしているからというだけでは、必ずしも商売が大きく発展する保証はありません。お互いに業種の異なる工場を見学しあって、情報交換するくらい関係を作ることがお互いに頼ったり、頼られたりする関係ができます。ギブアンドテイクといわれますが、この社長さんによれば、「ギブを多くするくらいでちょうど良い」とのことです。「人がいない」「時間がない」など本来の仕事以外、やらない理由やできない理由はいくらでも言い訳できます。しかし、社長さん自ら積極的に行動を起こすことで環境や状況も変わります。それでなければ、「ただやらないだけ」「努力しないだけ」になってしまいます。かつて交流会という単なる「飲み会ではないか」とか「時間の浪費だ」と批判的に考える人たちもいました。しかし、決してそれだけではありません。

単なる飲み会でなくするためにも社長さんご自身が積極的に行動を起こし、交流会に参加したいものです。色々な交流会をご紹介します。私もお手伝いしたいと思います。一緒に交流会に参加してみませんか。 了

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議

交流アドバイザーが詰めておりますので気軽にご連絡ご相談ください(無料)

- 【月】 島津 龍男 村上 嘉男
- 【火】 八幡 敬和 児玉 英二
- 【水】 芝 忠 杉本 明子
- 【木】 八幡 敬和 松井 利夫
- 【金】 芝 忠 島津 龍男
- 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小センタービル5階

TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194

URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

e-Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

異グ連交流アドバイザー、ビジネスマネージャーの池谷明彦先生が、逝去されました(享年71歳)。心からお悔やみ申し上げます。

元C&Sグループ 会長 八幡敬和氏の弔辞の一部を紹介いたします。

謹んで池谷昭彦君の御霊に申し上げます。・・・中略・・・

池ちゃんが私どもと一緒に活動するようになって一年後に、機関誌であるC&S交信に会員紹介した私の記事に「55歳定年後欧州、ヒマラヤに長期滞在充電する。コミュニティーラジオ局の設立を目指し、経営を基礎から勉強しておこうとして始めた診断士受験勉強が思わぬ方向に進み、千葉県市川市異業種グループのアドバイザーの他、今春より神奈川中小企業センターのビジネスマネージャーを始める」の一文が有ります。・・・中略・・・

ベトナム研究会、産学公流横浜サロン、関内野毛地区活性化、愛媛県との地域間交流、商談会グループなど多くのプロジェクトに積極的に関与されました。・・・中略・・・

優れた探究心であの世の先達をつとめて頂きたいとお願いして、お別れの挨拶とします。どうか安らかに眠ってください。

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本、児玉へ